

友野真帆 Maho Tomono

-Film Director-

美しい光の設計で映し出す、被写体の姿。人、物と真摯に向き合うことで生まれる適切な距離感は、対象の本質的な価値を引き出し、定着させる。

特に、人物の内面に迫る映像では、朗らかな人格と聞き手としての卓越したコミュニケーション能力により、その人物の新しい魅力に出会うことができる。瞬間瞬間で消費されることが宿命である映像広告も、タイムレスで美しい映像作品に仕上げ、ブランドの財産となるよう心掛けている。

2006年より映像制作活動をスタートし、企画・ディレクションだけでなく自らカメラを持って撮影に臨むことも。制作のクリエイティブワークを一人で完結させてきた経験が豊富なため、分業するケースでも各セクションとスムーズに業務を進行し、一つの作品に結実させる。

旅を愛し、世界中を巡ってきたことでオープンマインドで親しみやすく、グローバルな感覚を身につけるのに役立っている。

